



平成29年3月16日

各 位

会 社 名 カネ美食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 三輪 幸太郎
(J A S D A Q ・ コード 2 6 6 9)
問合せ先 経理財務部長 伊藤 誠
T E L 052-879-6111 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

【業績予想の修正について】

平成29年3月期通期業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 90,082	百万円 3,172	百万円 3,250	百万円 1,902	円銭 192.53
今回修正予想 (B)	88,200	430	500	△560	△56.89
増減額 (B-A)	△1,882	△2,742	△2,750	△2,462	
増減率 (%)	△2.0	△86.4	△84.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	89,939	3,067	3,177	1,815	183.46

【修正の理由】

通期の業績予想については、外販事業の主要取引先である株式会社ファミリーマートのファミリーマートブランドとサークルKサンクスブランドの商品統合が1月からエリア毎に段階的に実施された対応策として、商品切替時の混乱を防ぐために一時的に製造アイテムを抑制したこと、さらに工場によっては納品店舗数が減少していることなどがあり、前回公表の売上高の業績予想を下回る見込みとなりました。

利益面においては、両ブランドの商品統合に伴って各工場の製造アイテムや納品店舗等が一斉に変更されたため、切替時における食材や備品等の廃棄ロスが発生しました。また、一新された商品の受注トレンドが掴みきれないことによるロス率の増加や生産スケジュールの変更に対応するための人員補充に伴って人件費が増加しました。

さらに物流配送費の増加や衛生管理強化を目的とした設備投資に伴う償却負担などが要因となり、前回公表の営業利益及び経常利益を大幅に下回る見込みとなりました。

加えて、外販事業の利益水準低下に伴って減損損失7億70百万円を認識する見込みであることから当期純利益についても前回公表した数値を下回る見込みとなりました。

※なお、配当につきましては、今回の利益水準の低下は、一過性のものと認識しており、当社の財務内容を総合的に勘案して平成28年5月9日に公表した配当金（中間30円・期末30円・年間60円）の予想は変更いたしません。

（注）上記の業績予想の修正については、現時点において合理的であると判断する情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上